

# Ⅰ 研究の歩み

## おおた教育ビジョン

- 体力の向上と健康増進
- 魅力ある環境づくり

## 体育科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

## 東京都小学校体育研究会の研究内容

- 学習課題の捉え
- 研究主題を達成するための視点

## 児童の実態

- 新しい内容、技能の向上に前向きに取り組んでいる。
- 自分から課題を見付け、それを追究していく児童が少ない。

## 教育目標

よく学び よくあそび  
よりよく生きる 田小の子

## 教師の願い

- 自分が取り組みたい運動や解決したい課題を明確にもち、学習に見通しをもちながら粘り強く取り組んでほしい。
- 互いに認め、支え合いながら技能の向上を目指したり、運動の楽しさに触れたりしてほしい。

## 研究主題

**自己の学習課題を見だし、粘り強く解決しようとする児童の育成**

## 手立ての実践と検証（広げる）

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"><li>○スモールステップでの運動の例示</li><li>○教師の言葉掛け集の作成</li><li>○学習意欲を高める学習ゴールの設定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○スモールステップを意識した技や練習の場の提示</li><li>○ICTの活用（スナップショット機能）</li><li>○振り返りを生かした学習サイクル</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○「できる」を積み重ねる単元の導入の工夫</li><li>○児童が常に自己の学習課題をもてるようにする工夫</li><li>○学習カードや資料の工夫</li></ul>

## 副主題の設定

**「できる・分かる」の積み重ねを通して**

## 研究仮説

児童が「できる・分かる」経験を積み重ねながら学習していくことで、「達成感を伴った楽しさ」を味わい、次時への意欲を高めることができる。そうすることで、自ら学習課題を見だし、粘り強く解決しようとする児童が育つであろう。

## 実践と検証（深める）

「できる・分かる」を児童が実感するための手立て

- ・「スモールステップの工夫」
- ・「学習環境の工夫」
- ・「学習過程の工夫」
- ・「学習資料の工夫」
- ・「教師の言葉掛けの工夫」

今後の検討事項

## 目指す児童像

**自分のゴールに向かって試行錯誤しながら繰り返し取り組んでいく児童**